

## 業務・システム刷新の実施状況

1. 業務・システム刷新の概要
2. フェーズ2開発の全体管理体制
3. フェーズ2プロジェクト憲章の策定（主なポイント）

厚生労働省年金局  
日本年金機構

令和6年1月

# 年金記録管理に関するシステム刷新

- 年金の記録管理システム（昭和55年～）は、**現行事業者固有の技術（メインフレーム、言語等）**により構築される**政府最大級のシステム**。
- 多年にわたる運用、制度改正、超大規模であること等から以下の課題があり、業務の見直しと併せて、段階的にシステム刷新に取り組んでいる。
  - **フェーズ1**（現行のデータベースやシステム構成が前提）： 各種届出等の電子化、ペーパーレス化等のシステム開発（H29年1月～順次稼働）
  - **フェーズ2**（データベースやシステム構成等の見直しを前提とした基幹システムの再構築）：**システムのオープン化&政府最大級のデータ等の完全移行**

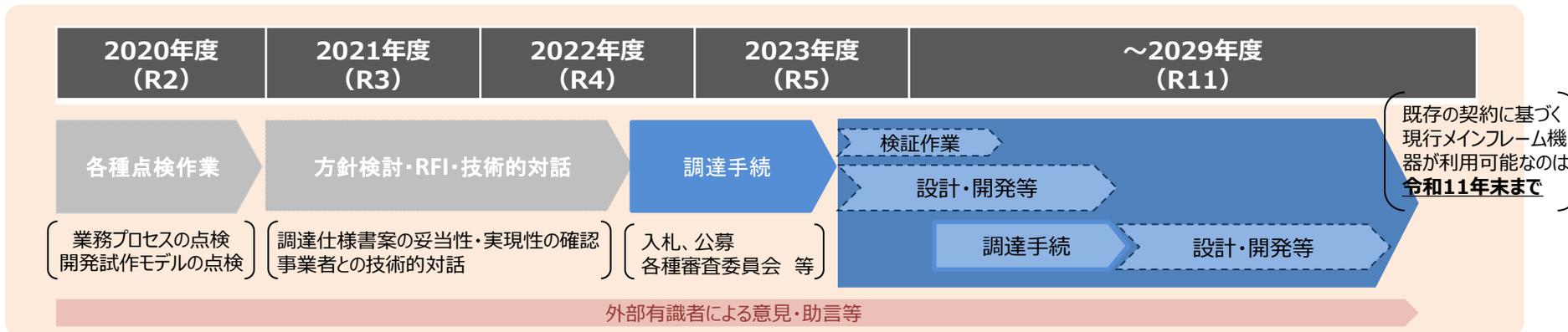
## 【問題点】

- ① **年金記録が制度別・事務所別での管理となり複雑化**
- ② **発注者主導でのシステム開発ができない**
  - ・ 事業者の独自性が強いコンピュータが導入されている
  - ・ システムの中核部分の著作権が事業者に帰属
  - ・ 他の事業者の参入が困難な状況（ベンダロックイン）

## 【問題に対する取り組み】

- ① 記録管理の適正化・一層の正確性の確保を行うため、データベース構造の見直しを行い、**個人別の年金記録管理**とする。
- ② **公平性（参入機会）を確保した仕組みを整備**することとし、**広く事業者が対応可能なオープンな製品や開発言語**を利用したシステムとするほか、**発注者によって設計・開発の標準的な方法を示し、設計書やプログラムの著作権を国に帰属**させる。

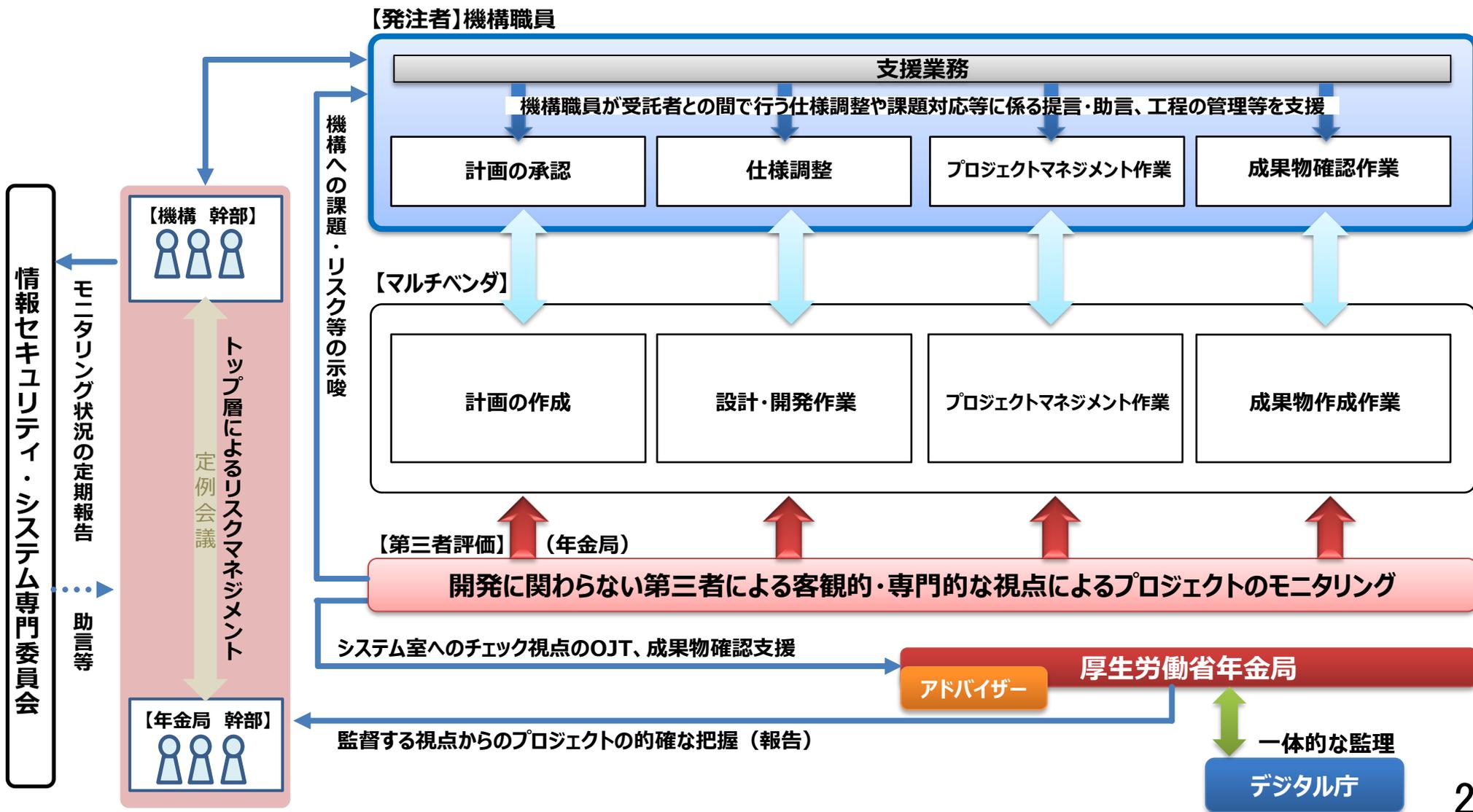
- **何よりも国民の年金記録を安全かつ確実に移行**させることを最優先として、それに**必要となる方策を重層的に用意**しながら進める。
- 本格開発に向けて、**事業者へのRFI（情報提供依頼）やその技術的対話等**を通じて、**基本的な方針や調達仕様を作成**してきた。
- **令和11年1月のシステム稼働を目指し**、本格開発の開始に向けた契約を4社と締結し、**令和5年10月より開発着手**。



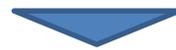
※ 現行システムの中核部分を担うコンピュータ（メインフレーム）製品は、提供事業者が令和17年度末までの完全撤退を公表済。

# フェーズ2 開発の全体管理体制

- 超大規模なフェーズ2 開発においては、**機構が主体となってマルチベンダ体制とともに、実施計画書に沿って開発を管理していくほか、年金局も含めた多層的な監視体制を確保し**、仮に開発が順調に進まなかった場合のエスカレーションやリカバリー策の導入を迅速に進められるようにする。



- 刷新プロジェクトの目的、進め方等の基本的な方針を明確にし、関係者の共通認識を図ることとして、「業務・システム刷新プロジェクト憲章」を策定。（平成30年12月。令和元年12月に改定）
- 刷新プロジェクトの取組を踏まえ、フェーズ2の進め方等について、整理（「今後の業務・刷新プロジェクトの進め方について」。令和4年12月）



フェーズ2本格開発の実施に当たって、改めて、関係者が共通認識の下で開発に取り組めるよう、

- ◆年金局及び機構において、「業務・刷新プロジェクト フェーズ2に係るプロジェクト憲章」を策定（令和5年11月）
- ◆併せて、憲章をもとに、機構及び受注者において、より具体的にフェーズ2開発の進め方や開発方針等を整理した「実施計画書」を策定。（令和5年12月）

<p><b>フェーズ2プロジェクト憲章</b></p> <p>〔 開発開始時点における中核的事項 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・フェーズ2の意義・目的（現行システムにおける問題点及び問題点に対する取り組み）</li><li>・開発の基本的進め方（現行システムの資産の活用、稼働時期、外部有識者からの助言の確保 等）</li><li>・実施体制（国と機構の役割分担等） 等</li></ul>
--------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p><b>実施計画書</b></p> <p>〔 フェーズ2における各開発ベンダが整合性をもって、開発を一体的に実施するための作業計画 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各開発事項の開発方針</li><li>・実施スケジュール/主要マイルストーン</li><li>・機構及び各ベンダの全体体制図/役割分担/責務</li><li>・各受注者が作成すべき成果物とその納入時期</li><li>・要員計画、要員に必要なスキル等</li></ul>
---------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------